

警報盤 施工説明書

施工業者様へ… この度は、弊社の警報盤をご採用いただきまして誠に有難うございます。警報盤を正しく施工していただくために、この説明書及び取扱説明書をよくお読み下さい。更に施工後、施主様によく説明していただくと共に以後の保守点検の際にも必要となりますので、取扱説明書の所定欄に施工会社名を記入の上、まとめて施主様にお渡し下さい。

本説明書では、警報盤を正しく施工し、施工される方や使用される方への危害や財産の損害を未然に防止するために、安全注意事項のランクを「警告」と「注意」に区分してあります。



警告

取扱を誤ると人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

1. 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されています。
2. 正しい配線、結線工事を行って下さい。誤配線があると発火、感電、故障の原因となります。
3. 活線工事は避けて下さい。感電の恐れがあります。
4. 必ず接地して下さい。誤動作及び感電の恐れがあります。
5. 配線には適合した電線を、圧着端子・圧着工具はJISマーク指定メーカーのものを使用して下さい。
6. 感電、短絡事故の恐れがありますので、施工時に取り外した端子カバー、保護カバー等は必ず元の位置に戻して下さい。



注意

取扱を誤ると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがあります。

1. 供給電源は使用できる電圧の範囲を、確認の上施工して下さい。誤った電源電圧を供給すると、製品が損傷し、発火する恐れがあります。
2. 改造等をしたことにより生じた事故については、一切の責任を負いません。
(万一改造が必要な場合は、弊社にご相談下さい)
3. 端子ねじの締付けは確実に行って下さい。締付けが緩いと端子部が発熱し、製品の損傷および発火の恐れがあります。
4. 機器内には電線の切りくず等の異物が残らないようにして下さい。故障の原因になります。
配線孔を開ける時は、内器を取り外してから、作業を行ってください。
5. 施工時に内部のプリント基板には、手や物(ケーブル、電線類)が触れないよう注意して下さい。故障の原因となります。
6. 屋内用ですので屋外や雨のかかる所には設置しないで下さい。
7. 設置環境は下記条件でご使用下さい。
 - ・周囲温度 -5～40℃
 - ・相対湿度 45～80%
 - ・標高 1000m以下
 - ・次のような場所に、本製品を設置することは避けて下さい。
周囲の空気に塵埃、煙り、腐食性又は可燃性の気体・蒸気及び塩分による汚染が発生する場所、及び震動の多い場所。風雨や日光の直接あたる場所。
強電流電線、機器、高電圧電線、機器の付近、または電磁波を発生する機器、機械の付近

テンパール工業株式会社

安全にお使いいただくために

警告

取扱を誤ると人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

1. 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されています。
2. 日常の操作は、扉を閉じた状態で行って下さい。
3. 保守点検等の目的で扉を開ける際、必ず電源を切ってから行って下さい。
4. 異常（発熱、異臭、発煙）がありましたら、すぐに使用を止めて、施工業者に連絡し、点検を受けて下さい。
5. 濡れた手で触れないで下さい。感電の恐れがあります。

注意

取扱を誤ると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがあります。

1. 改造等をしたことにより生じた事故については、一切の責任を負いません。
2. 内部のプリント基板には、手を触れないよう注意して下さい。故障の原因になります。
3. 本製品に対する絶縁抵抗測定をしないで下さい。破損する場合があります。
4. ヒューズが溶断した場合は、必ず原因を取り除き、同容量、同定格のものと交換して下さい。
5. 水等をかけないようにして下さい。又、施工時に内部のプリント基板には、手や物（ケーブル、電線類）が触れないように注意して下さい。故障の原因になります。
6. 停電補償用バッテリーには、寿命があります。（5年程度）予防保守の観点から、3年毎の交換をお願いします。
7. 使用環境は下記条件を維持して下さい。
 - ・ 周囲温度 - 5 ~ 40℃
 - ・ 相対湿度 45 ~ 80%

施工電気工事業者様へのお願い

1. 工事について詳しい内容は施工説明書をお読みください。
2. 施工終了後、電気工事業者欄にご記入ください。
3. この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工電気工事業者名

電話 () 施工年月日 年 月 日

テンパール工業株式会社